

ジョブコーチによる支援サービスのご案内



ジョブコーチ支援とは



- 障害のある方が職場に適応できるように、働く企業に一定期間ジョブコーチが訪問し、障害のある方と企業の方、双方に支援を行うサービスです。
- 障害のある方に対しては「職場適応に向けた助言・援助」を、企業の方に対しては「雇用管理に関する助言」を行います。特に、障害のある方を直接指導、サポートする担当者の方に対して、具体的なノウハウをお伝えします。

※ 国、地方公共団体等の機関及び当該機関において採用された方は、ご利用の対象とはなりません。



ジョブコーチ支援の内容



- 本人、企業のニーズに合わせたオーダーメイド型サービスです。
- 課題や適応状況に合わせて、支援期間、訪問頻度、支援内容等をご提案します。

パターン例

(本人)

- ・作業が覚えられない
- ・ミスや抜けがでる
- ・時間内に仕事が終わらない 等

(企業)

- ・なかなか作業のミスが減らない
- ・指示や注意が抜けることが多い 等

作業場面介入型

(ジョブコーチ)

- ・いつ、どこで、なにをすればよいかを明確にするための支援等を行います。

● 集中的に企業を訪問し、本人の作業遂行の状況や職場環境について確認します。

● 本人に適した仕事のやり方や指導の仕方等について、本人と企業に助言・援助を行います。

● 工作上必要なコミュニケーションに関する助言・援助を場面に応じて行います。

作業手順書

作業予定表

● 作業手順書

● 作業予定表

< 支援期間 > 標準 3～4 か月程度

< 訪問頻度 > 当初は週 2～3 回程度

作業場面介入型 → 相談支援中心型への移行等の組合せもできます。

(本人)

- ・定期的に話ができる機会がほしい
- ・企業との間に入って調整をしてほしい 等

(企業)

- ・一人で抱え込んだりしていないか心配
- ・本人の調子を把握するための方法がわからない 等

相談支援中心型

(ジョブコーチ)

- ・定期的な面談を通して、体調やメンタル面等を確認し、必要な助言や企業との調整等を行います。

● 本人や企業との相談支援を中心に行い、本人と企業のコミュニケーションを円滑にしていきます。

● 本人に対しては「疲労やストレスのセルフケアに関する助言」を、企業に対しては「職場内のラインケアに関する助言」を行います。

体調管理表

体調管理表

< 支援期間 > 標準 3～6 か月程度

< 訪問頻度 > 当初は週 1 回～2 週に 1 回程度

●月●日(月)	睡眠時間	22:00～6:00 (8時間)
6:00 起床 (40)	寝つき	よい わるい
7:00 朝食 (40)	寝起き	よい わるい
8:00 出発 (50)	中途覚醒	ある ない
9:00 会社着 (50)	体調	よい 普通 わるい



ジョブコーチ支援の流れ



相談受付

- まずは**当センター（担当カウンセラー）**にご連絡ください。カウンセラーが支援ニーズや現状等について伺います。

支援ニーズ 状況確認

- カウンセラーが本人との面談や企業等を訪問し、関係者（人事、上司等）との面談や職場の見学等により、詳細な状況について確認します。
- 支援ニーズや状況に応じた支援計画書（案）を作成します。

作業場面介入型

Or
and

相談支援中心型



打ち合わせ

- カウンセラー、ジョブコーチが企業を訪問し、関係者に支援計画書（案）を説明しながら、支援開始に向けた打ち合わせを行います。

支援開始

- 関係者から同意を得られた支援計画に沿って、ジョブコーチ支援を実施します。

フォローアップ

- 支援期間終了時にカウンセラー、ジョブコーチ、関係者で振り返り（ケース会議）を行い、必要なフォローアップを実施します。

支援期間終了に向けて、支援の頻度や時間を徐々に減らしていきます。

集中支援期

移行支援期

ケース会議

※はじめはジョブコーチが中心に動きますが、徐々に企業の方にお任せします。



利用にあたって

- 利用には、本人と企業の両者の同意（利用希望）が必要です。
- 雇用前実習、雇用と同時に、雇用後（在職中や復職）のいずれのタイミングでも利用できます。
- 雇用を前提としない体験実習や委託訓練中の利用はできません。
- ジョブコーチは通常2～3名の体制で、交代で職場を訪問して支援をします。
- 業務上で知りえた情報の秘密は守ります。
- 利用にかかる費用は無料です。

利用者の声

本人



- ・最初は覚えるのに時間がかかりましたが、少しずつ作業日報を見て、仕事のスケジュールをチェックすることで、困らずに仕事ができるようになりました。
- ・面談の中で不安な気持ちを聞いてもらい、できている点等をフィードバックしてもらえたので安心しました。

作業支援
+相談

上司



- ・本人が慣れるまで、現場でフォローできない点を支援してもらい助かりました。
- ・様子がおかしいと感じた時の周囲の関わり方を教えてもらい、勉強になりました。

総務
人事



- ・部署内の社員に障害についての研修をしてもらい、周囲の理解が進みました。
- ・本人をフォローする担当者のメンタルケアにも繋がって、負担が軽減しました。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 兵庫支部 兵庫障害者職業センター



所在地

〒657-0833

神戸市灘区大内通5-2-2（ハローワーク灘3F）

TEL

078-881-6776

Email

hyogo-ctr@jeed.go.jp

アクセス

- ① JR「摩耶駅」下車 徒歩5分
- ② 阪急電車「王子公園駅」東口下車 徒歩7分
- ③ 阪神電車「西灘駅」下車 徒歩10分
- ④ 神戸市バス「水道筋6丁目」下車 徒歩2分
(地下鉄三宮駅前バス停から90.92系統石屋川車庫行きに乗り)